

八 笑顔を作った

太一 ↑ クエ ↓ 瀬の主

見ていた

おだやかな目 大物のクエ

様子を見る 百五十キロ以上

おそれていない 父を倒したクエかも

もろでつければいい 全く動こうとはしない

逃げようとしな

あわてる様子がない

もりを向けられたのに

この大魚は殺されたがっている。 ↓ 初めての感情。

数限りなく魚を殺してきた。

とらなければ本当の一人前の漁師にはなれない。

今までの漁でとってきた魚とはちがう。

「海のめぐみ」とはちがう。

おとうやと吉じいさとはちがう。

泣きそうになりながら

とらないと一人前にはなれない。

とることはおとうやと吉じいさの生き方とはちがう。

とらないといけな

ふつとほほえみ

← 気持ちが決まった 迷いがなくなった

もりの刃先を足の方にど

「おとう、ここに

また会いに来ますから。」

瀬の主を殺さないで済んだ。 海

殺したくなかった。 本当の一人前になれなくてもいい。

自分の仕事ではない。

おとうやと吉じいさのように生きたい。